

大和川今池遺跡



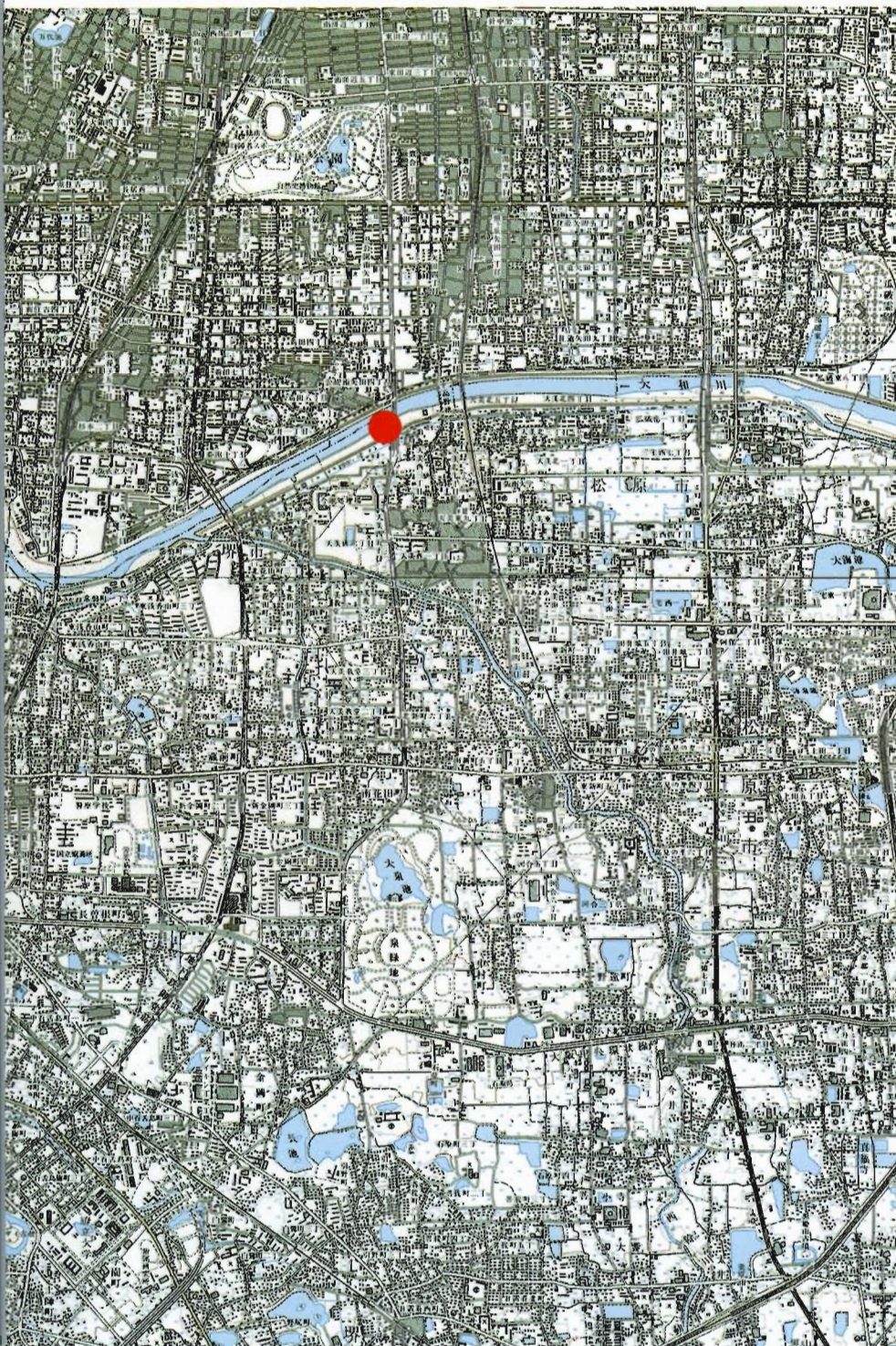
2000年7月22日
(財)大阪府文化財調査研究センター

はじめに

大和川今池遺跡は、松原市・堺市・大阪市の市境（古代の河内、摂津国の境界）にある遺跡です。現在、建設省による大和川の洪水敷整備事業に先だて発掘調査を行っています。今回の調査区は、大和川の南側（左岸）に面する大阪市東住吉区矢田に位置しています。

調査区に面する大和川は、江戸時代（1704年）に付け替えられた川です。また、調査区の北西側には、『日本書紀』や『古事記』に出てくる「依網池」という大きな池がありました。大和川の付け替え前の風景は、現在の風景とたいへん異なっていたと思われます。

大和川今池遺跡での発掘調査によって、この周辺地域の土地利用や環境などが復元されつつあります。



調査地位置図



大和川と調査地



わだち（轍）跡



平安時代遺物出土状況

調査の経過

やまとがわいまいけ いせき
大和川今池遺跡のこれまでの発掘調査では、縄文時代から近世までの遺構や遺物が見つかっています。

なにわのみや
難波宮からまっすぐに南下する古代の道「難波大道」と推定される遺構や、「依網池」の一部も発掘調査で確認されています。中世の居館跡をとりまく壕も見つかっています。

昨年度の調査では、古墳時代の竪穴住居跡や溝、平安時代の川の跡、鎌倉時代後期頃の掘立柱建物跡や井戸などが見つかっています。平安時代の川の跡からは、須恵器や土師器といった日用の器などとともに、文字の書かれた墨書土器や、人の顔を描いた人面墨書土器などが出土しています。また、川の底からは、古墳時代の靱形埴輪や円筒埴輪などが見つかりました。おそらく、近くの古墳から埴輪を運んできたのでしょう。

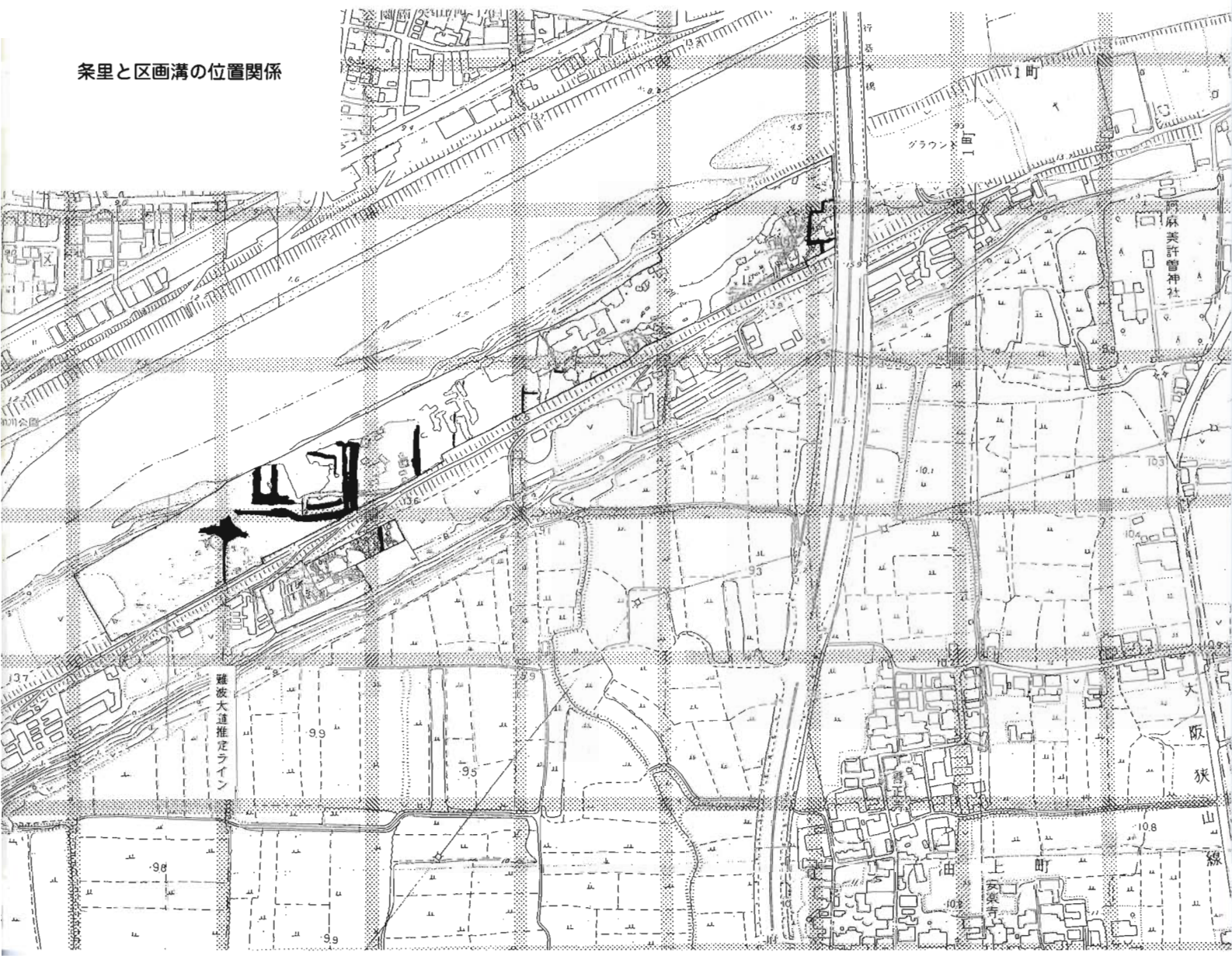


竪穴住居



中世遺物出土状況

条里と区画溝の位置関係





瓦器碗出土状況

検出遺構

今回の調査では、鎌倉時代後期から室町時代頃の、堀割り状の溝で区画された屋敷跡が見つかりました。溝のそれぞれのかどは、ほぼ直角に曲がっています。その溝の西辺と北辺が、古代にはじまる土地の区画である条里地割りに沿っていることがわかりました。残念なことに現代に掘られた跡があったため、屋敷地の建物を復元することはできませんでした。

この地の有力者の屋敷が建っていたと考えられます。屋敷地の周りにこのような溝を巡らせるということは、外部からの侵入を防ぐ必要があったのでしょう。



調査区平面図



堀割り状の溝 遺物出土状況



出土輸入陶磁器



堀割り状の溝（西から）



堀割り状の溝（北から）

堀割り状の溝の中からは、多くの瓦とともに瓦器碗、土師器、陶磁器などが出土しました。溝の上層からは、輸入品の青磁、白磁碗や絵の書かれた皿なども出土しています。

屋敷地の北辺の溝が張り出したところには、鎌倉時代後期の井戸がありました。また、屋敷地の北側には、瓦器碗が出土した土壌がありました。

この他、平安時代の遺構として、調査区内の北側および西側から、わだち跡や足跡がたくさん見つかりました。わだち跡は、真北の方向からやや西側に振れるものが多くみられました。牛車や人が行き来していたものと思われる。



堀割り状の溝全景



溝内瓦出土状況



溝内青磁碗出土状況

出土した遺物

これまでの調査で、多くの遺物が見つっています。

遺構の下層から、縄文時代の石器が出土しました。三角形をした石匙や石鏃、石刃などがみられます。

古墳時代の遺物として、靱形埴輪片と盾形埴輪片、円筒埴輪が見つかりました。円筒埴輪は、煙突などに転用していたらしく、内面が黒くススけているものもありました。

平安時代の遺物として、須恵器や土師器の皿や甕などが、まとまって出土しました。その中には、文字の書かれた墨書土器や人の顔を描いた人面墨書土器が含まれていました。文字は、『野取』と読むことができます。地名のようなものであると考えられます。この地域の古代を考える上で貴重な文字資料です。今後の研究課題です。



靱形埴輪



円筒埴輪



へう記号の残る円筒埴輪



中世出土遺物



平安時代出土遺物



墨書人面土器

鎌倉時代以降の遺物として、瓦器碗や瓦、陶磁器などが多くみられます。焼けた石や瓦と一緒に、土師質羽釜、瓦器碗などが井戸の中に埋まっているものもありました。また、輸入品の青磁碗や白磁碗のほか、絵を描いた皿なども出土しています。



墨書土器



石器

まとめ

今回の調査では、鎌倉時代後期から室町時代(13~15世紀)頃の、堀割り状の溝で区画された屋敷跡を確認しました。また、その溝が条里型地割りに規制されていることもわかりました。溝で区画された屋敷地の検出例は近畿ではまだ少なく、中世の屋敷地を考える上で貴重な遺構です。さらに、文字の書かれた墨書土器は、この地域の古代を解明する貴重な文字資料です。このような資料から、古代から中世にかけての集落や土地利用の変化がうかがえ、この地域の景観を復元する上で非常に重要な発掘調査となりました。

